

今後の普及啓発の在り方について (ディスカッションペーパー)

1. 普及啓発に係る現状の評価

- ・社会にどれだけ理解されているか。理解度や内容はどうか。
- ・回復者の高齢化が進む中で、今後も風化させることなく継続していくために何が必要か。

2. 普及啓発活動の更なる充実に向けて

(1) 普及啓発活動の主体【誰が】

- ・主体を国や自治体以外に拡げていくことが必要ではないか。
- ・その場合、どのような主体が考えられるか。

(2) 普及啓発活動の対象【誰に】

- ・現在の主対象である資料館への来館者や、パンフを配布している学生以外に、対象を拡げていくことが必要ではないか。
- ・誰を対象として、どのように、どこまで拡げていくのがよいか。

(3) 普及啓発活動の手段・手法【いつ、どこで、どのように】

- ・現在の中心的手段である資料館運営（出張講演を含む。）や、パンフの配布以外の手段や手法も活用することが必要ではないか。
- ・対象者の理解度に応じて、普及啓発の手段・手法を工夫することが必要ではないか。その場合、どのように対象者を区分けするのがよいか。
- ・それぞれ、どのような手段・手法が適当か。また、どのようなタイミングで、どのような場を活用するのがよいか。

(4) 普及啓発活動の効果

- ・普及啓発活動の効果をどのような指標で計るのがよいか。

3. その他